

平成 15 年 2 月 4 日

『岐阜大学の将来展望』

市議会議員 西垣 勲 様



私の議員生活の大半は岐阜大学とともにありました。現在の統合された岐阜大学の地は私の地元でもあります。この大学の土地はもともと、大変水がつきやすく大型の排水機が必要な所でした。昭和 46 年私の初当選の年にこの地区の土地改良

事業と伴に大学誘致委員会が発足致しました。

そして今 520000 平方メートルの土地に建つ4学部に加え、新しく西隣に 125000 平方メートルを使って医学部ができようとしています。北側に病院、南に医学部があと1～2年で移る予定です。岐阜大学も独立法人の波にもまれ存続が懸念される状況でしたが、この医学部統合により国立大学としての存在が確かなものになってきました。また、周りの接続道路等の整備もすすんできており、近くには東海環状線のインターもできます。これからこの辺りは医学部の移転、道路の整備とともに大きく発展していくことと思います。

ご静聴ありがとうございました。